

一年学年だよ

No. 9

12月号

令和2年12月1日発行

107HR

幸せについて考える

最近では暗いニュースばかりで気が滅入りますね。こういうときって、普段気に留めないことでも考えてしまいます。「人生ってなんだろう?」とか「何を目標に生きているんだろう?」とか。いけませんね。あまり良くない方向に思考が向かっていると実感します。こんなときこそ、明るいニュースを意識して探す。宇宙飛行士の野口聡一さんが3度目の宇宙滞在を始めました。すごいなあ。自分の夢や目標に向かって生きている。輝いていますね。いいなあ。なんで自分はこう生きられないんだ?人生ってなんだろう?いかん。いかん。

自分の目標や夢はなかなか見つけれられないものかもしれません。では、「幸せ」はどうでしょうか?自分にとっての幸せについて考える。何をしているときに幸せを感じるのか?家でゴロゴロする。確かに幸せではある。ぐうたらな私にとってこの上ない幸せである。がしかし、ゴロゴロしている私の後ろで、美しい鬼と化した妻がいらいらしながら洗濯物を畳んでいる姿が見える。いや実際には背中を向けてゴロゴロしているから見ているわけではない。しかし怖くて振り返れない。これは幸せではない。自分だけが幸せでもダメ。自分も幸せを感じており、かつ周りの人も同程度に幸せを感じられる。これが自分にとっての幸せではないか、などと考えていると、少し前向きな気持ちになる。大した目標ではないが、肝に銘じて生きていく。一緒に洗濯物を畳んだり、妻が始める前に洗濯物を外したり、私ができることは洗濯物以外にも山のようにある。

ところで、高校生は何をするとき幸せを感じるのだろうか?最近の若者の気持ちを理解するのは難しい。そこで、7組のみなさんにアンケート調査を行いました。設問は2つです。(少ない!)

問1 あなたが学校で幸せを感じる時は、どんなときですか?できるだけ具体的に答えて下さい。

問2 あなたが家庭で幸せを感じる時は、どんなときですか?できるだけ具体的に答えて下さい。

我ながら大雑把な質問。場所が変わってるだけ。クラスの皆さん回答していただきありがとうございます。問1で一番多かったのは、「友達と他愛もないことを話すとき」でした。まあ予想通りですね。次は「部活でうまくいったとき」でした。休み時間や部活動で感じる幸せな瞬間を増やせるようにサポートしていきますね。問2は「家族とテレビ見たり、他愛もない話をしたり、一緒にご飯食べたりするとき」でした。高校生も家族だんらんを幸せに感じているんですね。「寝るとき」とか「ゲームしているとき」なんかもよく見られました。質問に答えるときに、状況を含めずに自分だけの幸せを意識するのか、それとも学校の友人や家族と一緒にいる自分を意識するのかによって答えが分かれたのでしょうか。周りの人と共有する幸せについて考えるだけで、なんか幸せな気分になります。みなさんも自分なりの幸せの目標を立ててみませんか?(107HR担任)

育成力の象徴

今年のプロ野球日本シリーズは4年連続のソフトバンクの優勝でした。開幕戦は「お化けフォーク」千賀投手が先発、第二戦は石川投手が先発、野手では「甲斐キャノン」甲斐捕手、周東二塁手、牧原遊撃手が活躍し4連勝での日本一でした。この5選手は2005年からスタートした育成ドラフトで入団した選手です。ソフトバンクは「ドラフト1位だろうが育成だろうが、能力を伸ばすように育てる。その結果どこよりも強いチームを作りたい」という信念から、2011年からは3軍制を採用(この年に千賀、甲斐、牧原が入団)し、3軍に年間80試合を組み20人程度の育成選手を、3年をめどに長期的な視点から計画的に鍛え上げた。競争原理が働き、今では日本人選手のほとんどが生え抜き選手というシステムが確立されています。成功の秘訣はないかと思います。みなさんが学習や部活動で成果を上げるヒントかなと感じています。(107副担任)